

製品名: MOX-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14051**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	MEOX2
別名	MEOX2; GAX; MOX2; Homeobox protein MOX-2; Growth arrest-specific homeobox; Mesenchyme homeobox 2
遺伝子 ID	4223.0
SwissProt ID	P50222
免疫原	抗血清はヒト MEOX2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

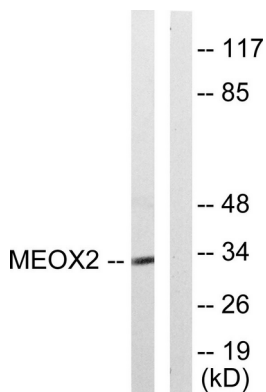
背景

この遺伝子は、クラスター化せず、分岐したアンテナペディア様ホメオボックス含有遺伝子のサブファミリーに属する遺伝子をコー

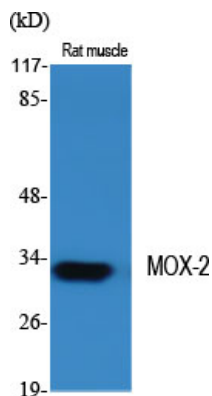
ドしています。コードされているタンパク質は、脊椎動物の四肢筋形成の制御に関与している可能性があります。マウスにおける関連タンパク質の変異は、アルツハイマー病で観察される神経血管機能障害に加えて、頭蓋顔面および / または骨格異常と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 中胚葉誘導とその最初期の領域的特異化、体節形成、そして筋原性および硬膜分化における役割。休止状態の血管平滑筋細胞が細胞周期に再び入るときの調節的役割を果たす可能性がある。、多型性:MEOX2 のポリ His 領域は多型性があり、His の数は集団内で変化する。、類似性:1 つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含む。、サブユニット:RNF10 と相互作用する。、組織特異性:胚および胎盤。、

研究分野

画像データ



COLO205 細胞ライセートの MEOX2 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MOX-2 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



1: 2000 希釈の MOX-2 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析

